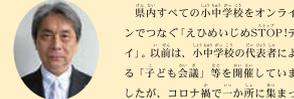


えひめの子どもたちへのメッセージ

～みんなが安心して過ごせる学級・学校をつくるために、確かな行動に表そう～



県内すべての小中学校をオンラインでつなぐ「えひめいじめSTOP! デイ」。以前は、小中学校の代表者による「子ども会議」等を開催していましたが、コロナ禍で一気に集まったのが困難になったため、オンライン形式での開催に変更したところ、全国でも類を見ない愛媛県ならではの取り組みとして、小中学生と中学生を中心に約23,000人が参加し、みんなでいじめ問題の解決に向けて考える貴重な機会に発展しました。

3年目となる今年度は、「みんなが安心して過ごせる学級・学校をつくるために」をテーマに、事前に配信したミニ動画や演劇による問題提起、リアルタイムでのアンケートなどを通して、熱心な議論が行われました。その中で意見として出された、「自分自身を見つめること」や「友達との個性や考えの違いを認めること」が、ライブ授業でもお話しが「人よりよく知る方法」に通じるものであり、児童生徒の皆さんが互いに真摯に向き合っている大変心強く感じました。

「えひめいじめSTOP! デイ」はいじめ問題の解決に向けた一つのステップです。次のステップは、皆さんが、今後、確かな行動につなげていくことです。話し合ったことを、日常の行動に表すことで、変化が生まれます。ほんの小さなことでも、積み重ねていくと、必ずや大きな変化をもたらすことができます。いじめの起これば「学校・学校づくりに向け、皆さん一人ひとりが考え、実践してほしい」と願っています。

保護者や地域の皆様、子どもたちが学級で安心して学べる環境をつくるためには、いじめ問題について当事者意識をもつ考え、地域社会全体で人を尊重する精神の醸成や、いじめを見逃さない雰囲気や意識を醸成することが大切であると考えます。子どもたちの考えや意見を尊重しながら、いじめの性質や見守り、支えていただきますようお願いいたします。

最後に、「えひめいじめSTOP! デイ」の開催に当たり、ご理解とご協力をいただいた皆様に、心から感謝申し上げます。

愛媛県教育委員会
人権教育課
2024年(令和6年)
2月発行

えひめ愛顔の子ども新聞

小中学生 約23,000人が参加



みんなが安心して過ごせる学級・学校をつくるために

県内一斉ライブ授業 えひめいじめSTOP! デイ開催

令和5年11月16日(木)、宇和島市立南子文化会館をメイン会場に、県内すべての市町をオンラインでつなぐ一斉ライブ授業「えひめいじめSTOP! デイ」が開催されました。小学校6年生と中学校1年生を中心に約23,000人が参加し、みんなが安心して過ごせる学級・学校をつくるためにはどうすればよいかについて話し合い、考えを深めました。

ライブ授業の前半では、昨年と同じように劇を鑑賞し、自分が劇の登場人物の立場だったら、どのような行動を取るのかについて各学級で話し合いました。リモートでつながった各校から、「そっとしておいてほしい気持ちと声を掛けたい気持ちがある」など、多様な意見が出されました。後半は、「みんなが安心して過ごせる学級・学校をつくるために必要なこと」においてライブアンケートを実施。約18,000人の回答は、「普段から様々な人と関わること」意見を最初から否定せず、まずは受け止めることが大切」といった意見など、何でも言い合える環境や人との信頼関係をつくることの大切さについての意見が熱く交わされました。



小5～中2のみんなに聞いてみた!

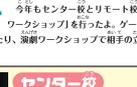
自分のこと・友達のこと・人とながらること

コロナ禍で遊びや学習に様々な制限があり、人との関わりが極端に少なくなりました。新しい思いや経験した人も多かったことでしょうか。そこで、今、小中学生のみんなは、周りの人との関わりについてどう感じているのか、それが心や体の健康とどうつながっているのかについて調べてみました(令和5年6～7月、県内の公立小中学生約44,000人を対象にアンケートを実施しました)。



ライブ授業前

今年もセンター校とリモート校では、「事前ワークショップ」を行った。ゲームを通して、友達のことをわたり、演劇ワークショップで相手の立場に立って考えたりしたよ。



センター校

宇和島市立南島小学校
宇和島市立城東中学校



リモート校

新居浜市立中森小学校
高島町立岩城中学校
伊予市立北山崎小学校
松山市立立上中学校

サテライト校 408校

今回はライブ授業の前編にミニ動画を観て、ご自分の生活を振り返り、ワークを仕上げました。

考えるポイント

①安心して過ごせる楽しい学校って何? ②お話ししよう ③いいことをすると

自分のこと・友達のこと・人とながらること

ゲストから

スペシャルゲスト あばれる君

小中学生の真実な話や、熱心もった演劇を振り返りながら、「福んでいける」は、友達に話すときになる。様子がある友人がいたら、「大丈夫」「福んでいけることがあったら言ってね」といった声掛けがあった。また、目の友人とのよりよい関係づくりについては、「自分に厳しくしすぎないといい。そうすることで自分は楽になった」と、自分の経験をお話して、子どもたちにエールを送りました。

アドバイザーから

西原勝利先生 (愛媛県教育カウンセラー協会代表)

「みんなが安心して過ごせる学級・学校をつくるためには、日頃の関わりが大切でアドバイスされました。様子がある友人がいたら、「大丈夫」「福んでいけることがあったら言ってね」といった声掛けがあった。また、目の友人とのよりよい関係づくりについては、「自分に厳しくしすぎないといい。そうすることで自分は楽になった」と、自分の経験をお話して、子どもたちにエールを送りました。

ライブ授業後半

「みんなが安心して過ごせる学級・学校をつくるために」

みんなが安心して過ごせる学級・学校をつくるために、いろいろな話を聞いてみたよ。

話し方・受けかたが人によって変わることがあるよ。

「話し合うときは、相手のことを思いや声を掛けると、人にも受けかたがあるよ。それを活かして話し合うことが大切だよ。」

違いを認め合い、自分の考えや気持ちを伝えていこう! 小さなことから始めよう! 自分ができることはちょっとある!!

まとめ

「みんなが安心して過ごせる学級・学校をつくるために」

みんなが安心して過ごせる学級・学校をつくるために、いろいろな話を聞いてみたよ。

みんなが安心して過ごせる学級・学校をつくるために、いろいろな話を聞いてみたよ。

みんなが安心して過ごせる学級・学校をつくるために、いろいろな話を聞いてみたよ。

ライブ授業前編

6年生、ハイ!

授業中、急に今日の授業内容の発表会を決めたこと一人一人が発表中、勇気を振り出して手を挙げたよ。最初は、みんながどう思うか不安だったが、きょうの頑張る姿にみんなの心が動いていく...

ライブ授業中編

わたしのホンネ

「みんなと違うな」と感じるころ

- 〇よく聞いてみよう
- 〇運動会頑張ろう
- 〇人に話しかけるのが苦手
- 〇友人数が多いのが少し不安
- 〇スマホを持っていない
- 〇イライラする習慣がない
- 〇お友達に話しかけるのが苦手
- 〇お友達に話しかけるのが苦手
- 〇お友達に話しかけるのが苦手

ライブ授業後アンケート

「えひめSTOP! デイ」後のアンケートに、たくさんのお返事・意見が届けました。

ライブ授業のあと、どのようなことに気づけましたか? (複数回答可)

自分を見つめ直すこと	10,839
一人を認めない	11,249
人任せで自分行動する	12,190
ライブ授業、苦手を克服して	10,955
苦手を克服して	9,685

ライブ授業後編

先生方から

「えひめSTOP! デイ」を機に、学校現場で話し合いが深まり、学級・学校全体の雰囲気や意識が変化している。「一人一人が安心して過ごせる学級・学校をつくるために」という思いが、先生方から、保護者の方から、子どもたちから、様々な声が届いています。

相談窓口

いじめ相談ダイヤル24

中高生専用 SNS相談 ぼとえひめ

気軽に相談

SNS相談 ぼとえひめ

中高生専用 SNS相談 ぼとえひめ

気軽に相談

SNS相談 ぼとえひめ

中高生専用 SNS相談 ぼとえひめ

気軽に相談

SNS相談 ぼとえひめ

中高生専用 SNS相談 ぼとえひめ

小学校低学年

「さもって来てありがとう」

わたしのクラスは、女の子が5人、男子が2人のぞろぞろです。で、さもって来てくれたら、だいじょうぶです。と、やさしく声をかけます。みんなもよかったです。でも、たまに少ししんがります。それでもすぐにふんがらなくなりました。みんな大きな友だちです。みんながやさしいから、このポスターを作りました。これからもお友だちを大切に、ずっとずっとよくなしていきます。

令和5年度 人権ポスター特選作品

人権尊重の意識を高めるためのポスター展

令和5年度は、小学校・中学校・高等学校等から計45,135名の作品が寄せられ、審査の結果、5点が特選作品として選ばれました。

中学校

「見えなからこそ 敬愛と愛を」

高島市立東雲中学校 3年 越智 彩葉さん

愛媛大学教育学部の学生の皆さんから

会場に入るとすぐ、モニターの向こう側にいる小中学生と話を聞いてくくテーマについて考えている様子が見え、驚かされました。「みんなが安心して過ごせる学級・学校」は、どの学級でも目指したいものだと思います。そのためにも、今回のライブ授業で、お友だちと一緒に取り組むことができれば、それがいいと思います。皆さんの意見を聞き、自分も頑張りたいと思います。これからも、みんなが安心して過ごせる学級・学校づくりを続けていきたいと思います。

小学校高学年

「みんな仲間」

中学校の先生が4名 藤田 真代さん

小学校高学年

「心を温めて、個性を認め合おう」

八幡市立立上小学校 6年 吉川 麗さん

高等学校

「人生 自分色で」

愛媛県立高松高等学校 1年 木原 涼帆さん

来年度は中学校から開催します

令和6年度は、県内の小中学校をセンター校と一斉ライブ授業「えひめいじめSTOP! デイ」を行い、これまで以上に県内全域に人権意識を高めるための取り組みを行います。

すていね!

みんなも自分ごとから行動しよう!

すていね!

みんなも自分ごとから行動しよう!